
帯人の憂鬱

魅羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

帯人の憂鬱

【Nコード】

N9252N

【作者名】

魅羅

【あらすじ】

VOCALOIDの『KAITO』とその亜種、『帯人』のBL短編です。

KAITOが帯人のお兄ちゃんということでお話は進んでいきます。帯人はマスターが好きで好きでたまらないけど、カイトがそれを邪魔してきて……！？　ちょい病みはいつてます……

小さい頃は何をしても構ってもらえた。

歌うことしかできない俺だって頑張ったんだ。

でもマスター、どうしてカイトばつが構うんですか？ どうして俺は見てくれないんですか？

愛してます、愛してくれますから……マイマスター。

「もうっ……！ また帯人怪我してるの？」

「ごめんなさい、マスター……」

「いいのよ、帯人。でも包帯が上手く巻けないのは勘弁ね!!」
温かい手、体温。

何もできない俺を見ってくれる俺だけのマスター。

何回練習しても上手くならない包帯の巻き方。

マスターのすべてが愛しいんだ。

「ねえマスターあ……ここの音教えてーっ」

「いいわよカイト、ここはソのシャープ……難しいと思うけど、カイトならきつとできるわ。……ねえ帯人、ってあれ？」

「帯人、どっか行っちゃったあ……？」

ああ、カイト……なんでいつもいつも邪魔してくるんだ。それも毎回のようだ。

自傷行為をしたら、少しだけけどマスターは必ず僕の方を見てくれる。

年下のカイトの方がマスターにとっては優先だってわかってるのに。わかってるのに、抑えられない衝動。

カイトがいなければ僕の方がかまってもらえるのではないのかという疑問。

その結論はどうしてもカイトを『消す』という選択肢になっ

って。

カイトを殺してしまえば自分の思い通りになるのではないか？
そうだ。あんな奴殺してしまえばいいんだ。

マスターだってあんな手のかかるやつ、邪魔だって……思ってた……。

「帯人……」

「何？ カイト」

そんなことを考えていると、カイトがやってきた。

「帯人って……好きな人っているの？」

「決まってるじゃん」

……マスターのことが大好きだ。愛してるんだ。

「いないよ」

言えるわけがなかった。今の俺には。

「よかったっ……！」

『帯人がマスターのこと、好きじゃなくて』ってか？

「じゃあ、僕にもチャンスはあるよね」

「！？」

カイトは小さな手で俺を引つ張った。

その先にはカイトの小さな唇があった。

子供がするような口と口だけでするキス。

「な、なにすっ……！」

俺は今、とてつもなく顔が赤くなっていると思う。

なんで？ なんでなんだ？

「僕が好きなのは帯人ってこと。わざと質問したりしたのは……や
っぱり恥ずかしいから言わねっ！」

そう言うのと、思い切りカイトはどっかへ走っていった。

俺はマスターが好きなんだ。

じゃあこの体の火照りはなんなんだ？

思いが浮かんでは消えていく。

こんな思いをさせるなんて……

カイトの馬鹿野郎ッ！！

（後書き）

読んでくださりありがとうございます（＊、＊）

こんな駄作を……！

これが処女作となるわけですが、『なんもすることがねえーや』とかお暇な時に遊びに来てくれると嬉しいです……w
ではまた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9252n/>

帯人の憂鬱

2010年10月10日20時00分発行